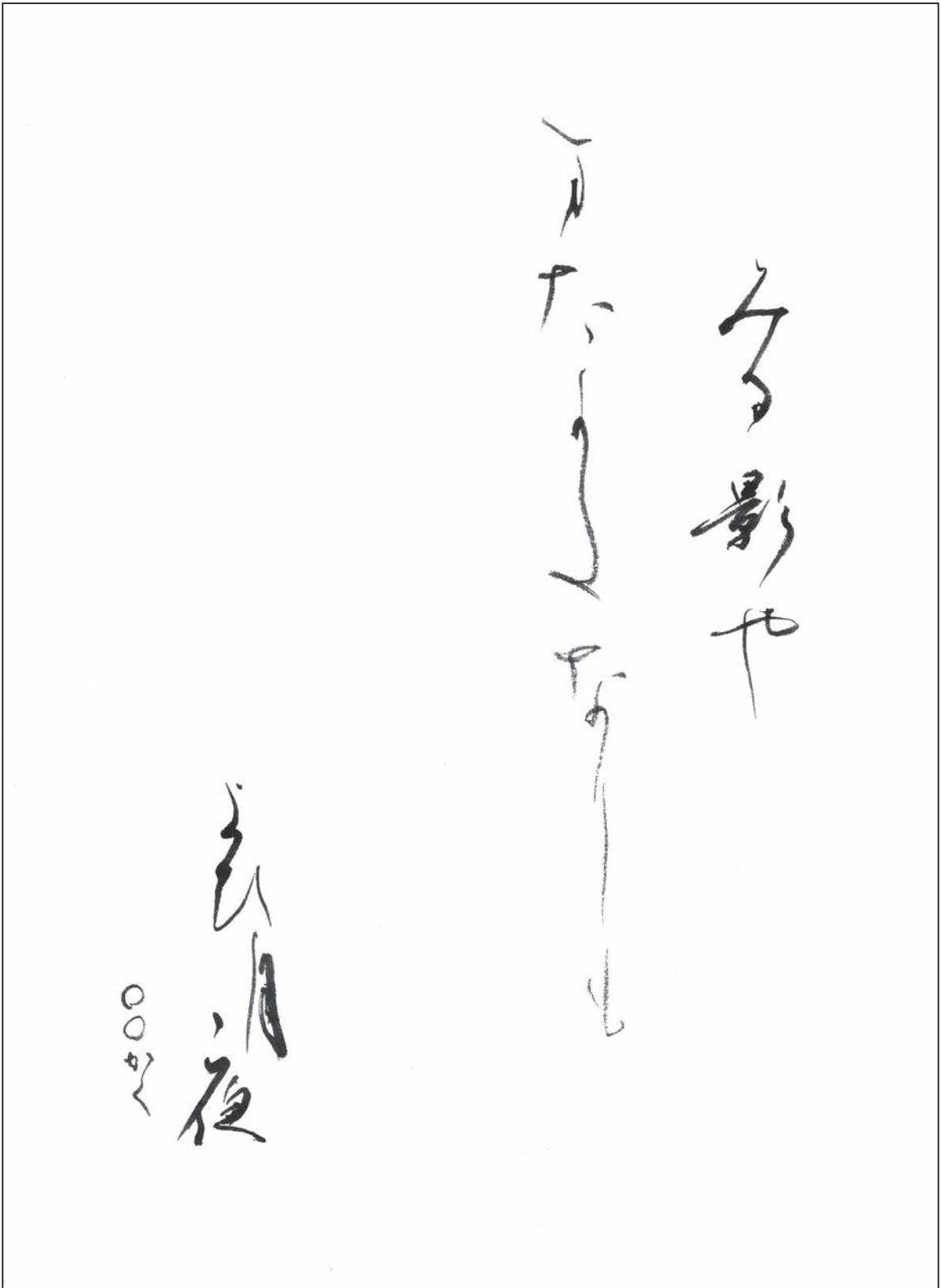


高校（E）俳句

見る影や

まだ片なりも

宵月夜



ふとふり仰ぐ天の一方に宵月がかかり、秋気はいよいよ満ちてきた。新月の風情はまだ十分とは言いがたいが、やはりどこか満月の清影をしのばせる趣を備えていることだ。

第五十回 全国学生書写書道展 参考資料